

開かれた議会をめざし



訓子府町議会
議長 上原 豊彦

明けましておめでとうございます。

日ごろから町議会に対するご理解とご支援に対し深く感謝申し上げます。

昨年は、8月に連続して上陸した台風により、農作物をはじめ、交通網などに大きな被害を受け、本町の経済などにも打撃を受けました。自然の脅威、さらには防災・減災の大切さをあらためて認識したところであります。

さて、幼保連携型施設認定こども園「わくわく園」が4月に開園し、子育て環境の充実が図られ、開基120年の節目の年として町民運動会をはじめ記念式典など、町を挙げてのイベントで盛り上がりました。

本年は、平成29年度から平成38年度までの訓子府町第6次総合計画が策定され、今後10年間の本町のまちづくりが新たなスタートを切ります。町議会にとっても、町にとってもそして町民の皆さんにとりましても大変重要な年となります。

こうした中、本町の財政状況につきましては、これまでの財政健全化の成果により改善傾向にある一方、依存財源である地方交付税が減少している状況にもあります。

今後も大型投資事業が見込まれており、議会としての責務、役割を果たすため、行政とともに知恵を絞りながら、町民の皆さんが安心して住み続けられるまちづくりに向けて、議会の改革や活性化に努め、町民の皆さんの意見や声を十分反映させることができるよう「開かれた議会」「町民と共に歩む議会」をめざしていきます。

今後とも、議会運営に対し皆さんのより一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。



今年の主役は

私たち



平成17年生まれ

訓子府の未来を担う子どもたち



松井 空輝くん
(訓小5年)

昨年の思い出は、宿泊学習でウォークラリーやカヌー、いかだをしたことです。今年、スクールバンドで全国大会に行けるように練習をがんばります。



渡辺 実結さん
(居小5年)

昨年の開校100周年記念式典で記念碑の除幕式のときに、記念碑をみんなに喜んでもらえてうれしかったです。今年、6年生になるので、1年生のお世話をがんばります。



東 梨華さん
(訓小5年)

居武士小学校に遠足に行ったことが昨年の思い出です。高学年とのキックベースボールが楽しかったです。今年、毎年楽しみにしているスキーをがんばりたいです。



渋谷 琉月くん
(訓小5年)

昨年の思い出は、宿泊学習のウォークラリーでイモムシを見つけたことです。今年、野球の試合でノーヒット、ノーランを達成するために努力していきます。



小野 由佳さん
(訓小5年)

昨年は、宿泊学習で勾玉(まがたま)を作ったり、料理をしたことが思い出に残っています。今年、勉強をがんばり、テストで良い成績を残して、中学校に行きたいです。

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。今年「酉年」です。未来を担う子どもたちの中で酉年生まれの方を紹介します。

目標に向かい
がんばるぞ!!



竹本 星太くん
(居小6年)

昨年の思い出は、開校100周年で普段できない貴重な体験ができたことです。今年、4月から、中学生になるので苦手な国語と算数をがんばりたいです。



清信 宏斗くん
(訓小5年)

昨年は、水泳の大会でライバルである二人に負けたことが悔しくて印象に残っています。今年、大会で二人に勝つこと、二級に受かることを目標にがんばりたいです。



小山内美沙紀さん
(訓小5年)

昨年は、宿泊学習でカレールを作ったことなどいろいろな体験ができたことが印象に残っています。今年、算数や歴史など、勉強をがんばることが目標です。



永井さくらさん
(訓小5年)

昨年は、宿泊学習で普段できない体験や友達と同じ部屋で楽しく遊べたことが思い出に残っています。今年、勉強とバレーボールをがんばりたいと思っています。



福田ももこさん
(訓小5年)

昨年の思い出は、水泳で一級、そろばんで二級に受かったことです。今年、水泳の200m個人メドレーで、自己ベストを更新できるよすがにがんばりたいと思っています。

町民こそが主役のまちづくりを



訓子府町長
菊池 一春

明けましておめでとうございます。昨年は開基120年の節目の年を記念して、記念式典の挙行をはじめ、2年の歳月をかけた「訓子府町四季観光フォトコンテスト」を皮切りに「町民運動会」、世界で活躍する「いっこく堂スーパーライブ」、「北海道日本ハムファイターズ応援ツアー」、国の重要文化財に指定されている高知県津野町の「津野山古式神楽」をふるさとまつりで披露、町民を募っての「姉妹町津野町訪問」など、多くの事業が実施されました。開拓の厳しさは筆舌に尽くしがたい自然の猛威、さらにも二度にわたる大戦による働き手の出兵など過酷とも思える困難にさらされながらも未来を信じ、今日に至る発展する訓子府町を築いてまいりました。

先人の偉業と歴史を礎に、新たな発展に向けて飛躍への第一歩を踏み出そうと思います。さて、今年は今後10年のまちの将来のあるべき姿と進むべき方向の基本的指針となる「第6次訓子府町総合計画」がスタートする年でもあります。本計画では「ちよっといいね!」がたくさんあるまち「くんねっぷ」をまちの将来像として、これまでの取り組みをさらに一歩進め、まちの主役である町民一人一人が自立し、お互いに少しずつ支え合い、助け合う中でそれぞれが必要としていることに向き合いながら「ちよっといいね!」と思えるようなことを積み重ね「たくさん笑顔」につなげていこうと考えております。

前期5年間は、特に重点的・分野横断的に取り組むべき施策について「強いまち」、「人を育てるまち」、「安心して住み続けられるまち」の3つを重点プロジェクトとして位置付け、基幹産業である農業の持続的発展をはじめとした産業の活性化、社会資本整備や地域防災力の強化、子育て支援、教育活動の活性化を推進し、誰もが安心して暮らせる生活環境を確保するなど、限られた財源を計画的、効率的に活用し、まちの将来像の実現をめざします。また、喫緊の課題としてスポーツセンターの建て替えや幅広い年齢層の住宅の確保、合葬墓の整備などについても進め、さらに、NPO法人シトレイン様による障がい者のためのグループホームがスタートしますので、町としても全力で応援していきたいと思っております。

今年も町は「町民こそが主役」「すべての町民にやさしい町づくり」を基本に、町民の皆さんの参加とお力添えをいただきながら、理想の町づくりへまい進してまいります。